

介護労働者の業務内容と 心身の負担感に関する研究

平成 14 年度報告書

介護労働者は「賃金が仕事の内容に比べて低い」、「体の負担が大きい」、「毎日の業務に追われてゆとりが持てない」等、従事している内容に関して不満やストレスを感じていることが明らかにされている。しかし、詳細な業務内容の進め方、組織内での介護業務の位置付けと直接関連付けて負担感を調査した研究はまだ見られない。

そこで平成 14～16 年度の 3 年計画で、介護労働者の業務内容を一日時系列で把握し、心身の負担感を調査することとした。初年度は特別養護老人ホームを対象に調査を実施し、中間報告書を作成した。

研究委員会メンバー

(主 査)栗 木 黛 子	田園調布学園大学 人間福祉学部 教授
(委 員)佐 藤 芳 子	田園調布学園大学 人間福祉学部 助教授
西 浦 功	日本女子大学 人間社会学部社会福祉学科 専任助手
松 原 日出子	日本女子大学 人間社会学部社会福祉学専攻博士課程後期 前 帝京大学福祉・保育専門学校専任講師
富 田 真紀子	(株)明治生命フィナンシャルランス研究所 研究員
(事務局)佐 藤 昭 吉	(財)雇用開発センター 常務理事
井 上 ナホミ	(財)雇用開発センター 研究調査部長
荒 井 直 子	(財)雇用開発センター 研究調査部

目 次

第 1 章	研究目的
第 2 章	平成 14 年度調査概要
第 3 章	施設介護職員の労働環境
第 4 章	平成 14 年度調査結果
第 5 章	まとめ
おわりに	
資料 1	調査集計結果
資料 2	調査票

調査の対象及び内容

(1) アンケート事前ヒアリング調査

調査時期 : 平成 14 年 10 月

調査対象 : 特別養護老人ホームにおける介護労働者 10 名

調査内容 : 介護職者に対して「介護労働負担や心身ストレス、悩みなどについて」をテーマとしてグループヒアリングを行った。

(2) 「介護職の業務内容と心身負担に関するアンケート調査」

調査時期 : 平成 14 年 12 月

調査対象 : 特養 70 施設に、介護職者用 1 施設当たり 20 名程度、計 1,000 名、施設長用を通信郵送にて依頼

回数 : <介護職>47 施設、556 人 <施設長>43 人

調査内容 : <介護職>20 業務についての一定の時間内にどれだけの作業を行っているか業務密度、介護業務の認識について
<施設長>施設概要、特に負担が大きい業務、介護職の負担軽減策、勤務体制等